

# 鰐淵学長ら湯 の児病院慰問

「水俣病の子を守る会」

熊本短大社会科学の学生を中心に作られている「水俣病の子を守る会」では、水俣病の子どもたちを慰問するため五日鰐淵学長、内田教授ら職員、学生代表十余人が水俣市のリハビリテーションセンター湯の児病院を訪れた。

子どもものの日のプレゼントとしておもちゃ、菓子などを子どもたちに贈り、歌などで慰問、このあと大橋病院長、徳永市衛生課長ほか婦人会、水俣病患者互助会代表など地元の関係者と座談会を開き、患者の救済、慰問などについて話

し合った。